

「サイエンスアゴラ 2017」への 海の学びミュージアムサポート事業紹介ブース出展

(主催：海の学びミュージアムサポート事務局)

(協力：群馬県立自然史博物館)

実施日：平成29年11月26日(日)



【実施内容・目的】

- 全国の各博物館が中心となって地域・分野の枠を越えた海洋教育の実践をするためのサポートを行う『船の科学館「海の学びミュージアムサポート」事業』の事業内容や実施成果を、広く一般および博物館関係者を対象に紹介することを目的に、「サイエンスアゴラ 2017」への事業紹介ブースの出展を行った。
- 出展アイテムとして、群馬県立自然史博物館が制作した『「海洋教育」体験型アウトリーチ補助教材(トランクキット)』(平成28年度プログラム2「海の博物館活動サポート」事業成果物)を展示紹介し、開発者である群馬県立自然史博物館スタッフと共に展示解説を行う事で、親子を中心とした幅広い年齢層の方たちに「海」を体験し、親しみを持って頂く機会とした。

活動の様子

1. 「サイエンスアゴラ 2017」への海の学びミュージアムサポート事業紹介ブース出展

- 【ブース名】「磯や潮だまりを体験しよう～海の学びミュージアムサポートの成果物紹介～」と「海の学びミュージアムサポート事業紹介」
- 【開催日時】平成29年11月26日（日）10:00～16:00
- 【開催場所】テレコムセンタービル 4階アトリウム
- 【出展者】①船の科学館（「海の学びミュージアムサポート」事務局）
②群馬県立自然史博物館（平成28年度プログラム2「海の博物館活動サポート」活用館）
- 【参加者数】約500名（本ブースへのタッチラリー参加者数214名）
- 【活動内容】
- 海の学びミュージアムサポート事業成果物（平成28年度プログラム2「海の博物館活動サポート」成果物『「海洋教育」体験型アウトリーチ補助教材（トランクキット）』）の展示紹介
 - 船の科学館「海の学びミュージアムサポート」事業内容の紹介



出展ブースの様子



展示紹介した事業成果物
「海洋教育」体験型アウトリーチ補助教材



「磯」を再現した触れるジオラマや生物模型



「波の音」や「海のおい」など、
五感を使って海を感じられる体験キット



視覚・聴覚・触覚・嗅覚での体験を通じた「海」を学べる展示解説の様子

海の無い群馬県ならではの視点で群馬県立自然史博物館によって開発された『「海洋教育」体感型アウトリーチ補助教材（トランクキット）』を事業成果物の一例として展示紹介し、普段海に親しむ機会の少ない方達に対して改めて「海」を感じ、親しむ機会となりました。

また、視覚障がい者にも対応した五感を使って海を体験できるハンズオンキットとして開発されたため、親子を中心とした幅広い世代に対して効果的に海を感じ、親しむ機会となりました。



船の科学館「海の学びミュージアムサポート」事業の事業内容・実施成果物等の紹介

全国の博物館が行う海洋教育をサポートする船の科学館「海の学びミュージアムサポート」事業について、博物館向けの海洋教育実施サポート内容やこれまでサポートを行ってきた海洋教育実施成果物を、パネル展示や動画公開によって広く一般および博物館関係者に対して紹介する機会となりました。